

《鬼火で久玉地区の平穏無事を祈願》

1月7日、久玉地区振興会の年始め行事である鬼火(どんどやとも言う)が予定されていた。

昨夜からの暴風はその日の正午には強風に変ったが時折突風も吹いている。

ふれあい広場横には準備万端、雑木が胴回り20m高さ5mに積み上げられていた。

決行するか少し迷いはあったが、鬼火の場所から人家までの距離はけっこう離れていて、風は北西の風であることから煙は海の上へ流れていくと判断し、予定どおりの開催を決定した。

午後1時、高く積み上げられた雑木の山に向かって、1年の無病息災を祈願し、地区の皆さん等100名ほどが見守る中、着火すると炎が勢いよく燃え上がり、そこから吹き出す大きな黒煙は海上へと向かって流れていく、それでも強風も手伝っての炎の凄まじさは、まさに「鬼火」と呼べるものだった。

炎が落ち着くと「お神酒」と女性部の皆さんが作った「ぜんざい」が振る舞われ、鬼火を囲んで竹竿に挟んだ餅をあぶる光景が見られた。この餅を食べると1年間病気をしないとの言い伝えがある

今回も一年間頑張れる力と勇気をもらい鬼火は盛会に終了した。

尚、鬼火は内の原、吉田、上揚、鍛冶屋、明石、中の浦区でも行われた。

久振だより

人口2492人

1343世帯

第177号

発行

久玉地区振興会

発行日

令和5年2月1日



振興会(牛高前 ふれあい広場)



温かいぜんざいを頂きま〜す♪



内の原区



上揚区



明石区



吉田一区

心を込めた手づくり弁当で「友愛訪問」

1月22日、久玉地区振興会女性部22名は社会福祉協議会から委託を受け、75歳以上で一人住まいの方の見守りを兼ね、手作り弁当を届ける友愛訪問を実施しました。

コロナ感染防止対策の検温、手の消毒、マスク、窓開け等はキチンとされ、お喋りも適当にありましたが、女性たちのチームワークは抜群、諸々の作業を機敏にそして手際よく動き調理が進んでいきました。

前日に前準備をしていたこともあり、10時には作業を終え、対象者80名へ昼食前にお届けすることができました。

弁当を受け取った皆さんから「美味しい弁当を毎年楽しみにしています。ありがとうございます」と笑顔いっぱい感謝の言葉が聞かれ。女性部会長、小牧みえさんは「皆さんから喜んでもらえ私たちも元気をもらいました。今後も続けたいと思います」と話していました。



花の寄せ植えで友愛訪問

内の原区では令和4年12月21日に見守りの一環として、婦人部が75歳以上の独居高齢者宅(21名)へ、花の寄せ植えを持参して訪問しました。3年前までは手作りの弁当で訪問していたのですが、コロナ禍になり感染症防止のため1昨年より花の寄せ植えに変更しています。

手作りの弁当も喜んでいただいていたのですが、新年を華やかに迎えることが出来ますと喜ばれ、又、志にと飲み物を下さる方もいて、訪問した私たちが元気をもらうことが出来ました。

天草市社会福祉協議会と内の原区の協力で友愛訪問が出来、今後もその時々状況に応じて何をすれば高齢者に喜んでもらえるか、会員と検討しながら継続していきたいと思っています。

内の原区婦人部 小田和穂

